

第216期
営業の中間ご報告

ミニ・ディスクロージャー誌
2025年4月1日から2025年9月30日まで

KIYO

株式会社 紀陽銀行

2025年12月発行

経営企画部 広報・IR室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL.073-426-7133

<https://www.kiyobank.co.jp/>

銀行をこえる銀行へ

いつでもお客さまのそばへ飛んでいこう、と思う。

地元を、盛りあげようとする人がいる。

ならば私たちは、

その人の理想をかなえる力になろう。

どんな課題にも、本気で向き合い

そこまでやるかと言ってもらえる銀行に。

わたしたちは、お客さまの期待を、こえてゆきたい。

いつでも境界線を乗り越えたい、と思う。

わたしたちは、地元を知っている。

そこに暮らすお客さま同士を結びつける、

その方法を知っている。

結びつける地域が大きくひろがっても

どこまでも力になれる銀行に。

わたしたちは、地域の壁を、こえてゆきたい。

いつでも新しい世界へ跳躍したい、と思う。

歴史を紡いできた誇りを胸に

けれども、いままで通りの銀行とは違う、

そんな道を選びたい。

たんなる金融機関ではない

人生を丸ごとまかせてもらえるような銀行に。

わたしたちは、銀行という枠を、こえてゆきたい。

ごあいさつ

取締役頭取

原口裕之



皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、このたび、すべてのステークホルダーの方々に当行に対するご理解を一層深めていただくため、「2025年9月期ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。当行グループの最近の取り組みや業績などをまとめておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

当行グループを取り巻く環境は、円安や資源高に伴う物価上昇、人手不足など、依然先行き不透明な状況が続く一方で、株価・賃金の上昇など約30年間続いたデフレからの脱却の兆しが見えつつあります。このようななか、当行グループでは金利環境や堅調な本業収益の推移を背景に、2025年5月に第7次中期経営計画の目指す経営指標の上方修正を行いました。本格的な「金利のある世界」に突入するなか、金融機関に求められる役割はより一層高度化しており、地域社会の課題に真摯に向き合い、持続可能な社会の実現に貢献することで、さらなる企業価値の向上につなげてまいります。

また、当行は2025年5月に創立130周年を迎えました。これもひとえにステークホルダーの皆さま方のご支援の賜物であり、心より感謝申しあげます。変化のスピードが加速する現代において、長い歴史のなかで培ってきた知見と経験を礎に、変革を恐れることなく常に挑戦し続けることで、長期ビジョンの達成を目指してまいります。

今後のさらなる「飛躍」に向け、「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」という経営理念のもと、これまで当行グループを支えていただいた方々への「感謝」を忘れることなく、全役職員一丸となってステークホルダーの方々との「価値共創」に取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

ミニ・ディスクロージャー誌 2025年9月期 営業の中間ご報告	
目次	
ごあいさつ	2
トピックス	3
業績ハイライト	5
財務諸表	9
株式情報	13

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

第7次中期経営計画経営指標見直し

2024年4月よりスタートしました第7次中期経営計画について、中小企業取引を中心とする本業収益が順調に推移していることに加え、これまで計画に織り込んでいなかった政策金利の引上げに伴う影響などを踏まえ、2025年5月に計画最終年度(2026年度)における目指す経営指標を上方修正いたしました。

引き続き、「中小企業分野」における本業支援活動の充実、サステナビリティ経営の高度化等により地元企業の成長に貢献し、当行グループ・地元地域の双方にとって持続可能な発展を目指して事業展開いたします。

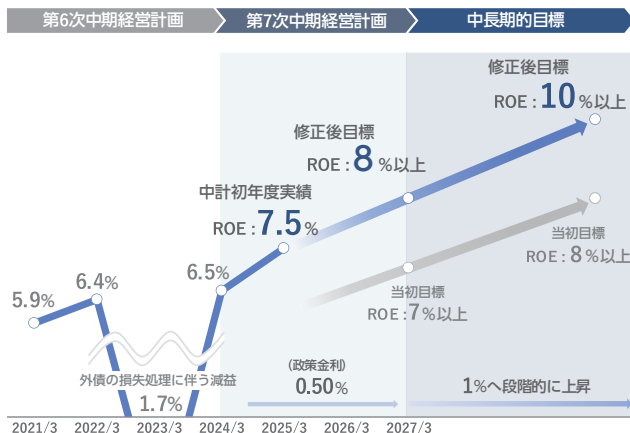
見直しの概要

	2025/3 実績	第7次中期経営計画最終年度(2027/3)		
		当初目標	修正後目標	当初目標比
ROE(連結)	7.5%	7.0%以上	8.0%以上	+1.0%
当期純利益(連結)	176億円	180億円以上	210億円以上	+30億円
顧客向けサービス 業務利益(単体)	169億円	150億円以上	220億円以上	+70億円
自己資本比率(連結)	12.0%	10-11%程度	10-11%程度	変更なし
政策投資株式の縮減額 (時価ベース)	初年度 77億円	計画期間中に 40億円	計画期間中に 100億円	+60億円

※ROE目標については、中長期的目標も10.0%以上(当初目標比+2.0%)に見直し

※第7次中期経営計画中の政策金利シナリオは0.50%横ばい

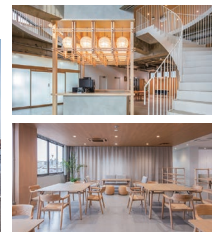
目指すROE水準



創立130周年記念事業 **130th** Anniversary

2025年5月2日に創立130周年を迎えました。経営理念である「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」の実現に向け、「紀陽銀行創立130周年記念事業」を実施しております。

■和歌山県発のスタートアップ支援拠点「Key Site」オープン



〈施設テーマ〉

“Region Bridge” ～スタートアップと地域をつなぐ懸け橋～

〈施設内容〉

1F カフェスペース 2F イベントスペース/コワーキングスペース
3F コワーキングスペース 4F 紀陽銀行オフィス 5F レンタルオフィス

〈イベント実績〉

- 「CEOオーディション和歌山～未来への第一歩～」チャレンジステージ
- 経営者へ行く“和歌山共育ツアー”
- 和歌山市創業支援セミナー
- Kii SPACE HUB キックオフイベント～宇宙ビジネスのリアルと入口～
- 経営相談会、個別相談会 等

■紀陽本店ビル建替

〈竣工時期〉

2029年12月(予定)

〈建物用途〉

本店営業部、和歌山営業本部、本部機能 他



提供：株式会社竹中工務店

〈主な目的〉

- ① 本店ビル(1954年竣工、築71年)の老朽化対応
- ② お客さまへの総合的な金融サービスの向上
- ③ 部署間のコミュニケーション活性化
- ④ まちづくりや脱炭素社会の実現への貢献
- ⑤ 金融機能のレジリエンス強化

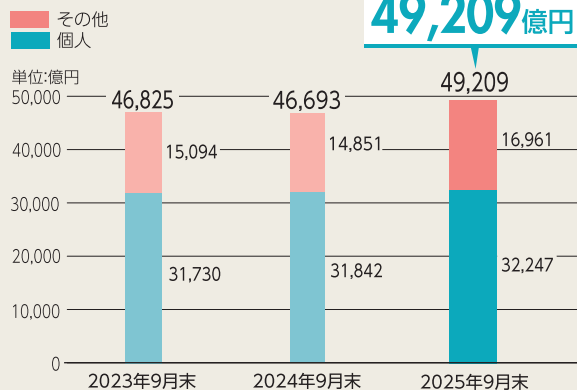
■その他

- 130周年定期の実施
- 紀陽ビジネスクラブ特別講演会の開催
- 紀陽文化財団との共催による紀陽コンサートの実施
- 行内起業プロジェクトの実施
- 従業員持株会向け譲渡制限付株式(RS)交付 等

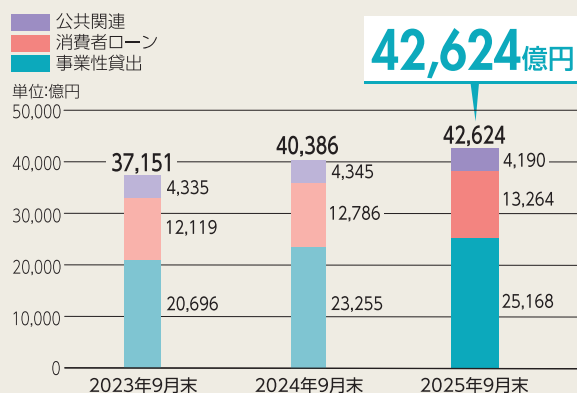
※創立130周年記念事業の詳細は、当行HPをご覧ください。

<https://www.kiyobank.co.jp/regionalactivities/130th.html>

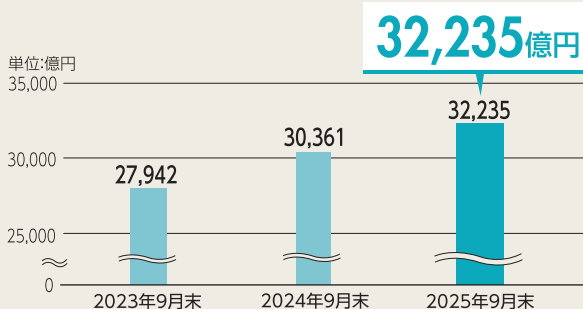
預金等残高(単体)



貸出金残高(単体)

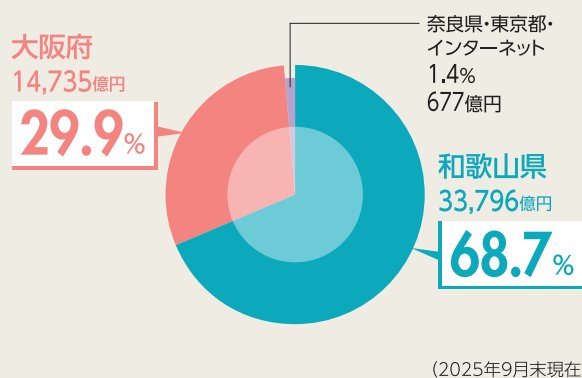


中小企業等貸出金残高(単体)

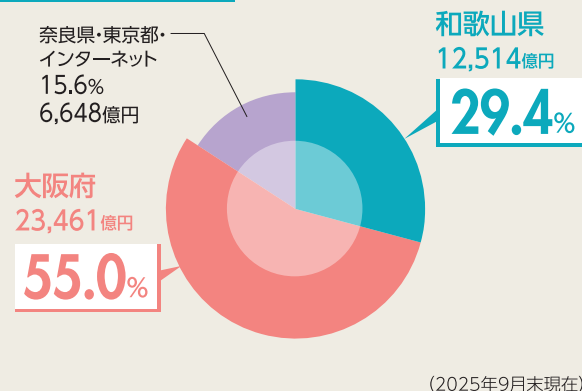


※中小企業等貸出金とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の会社および個人への貸出金

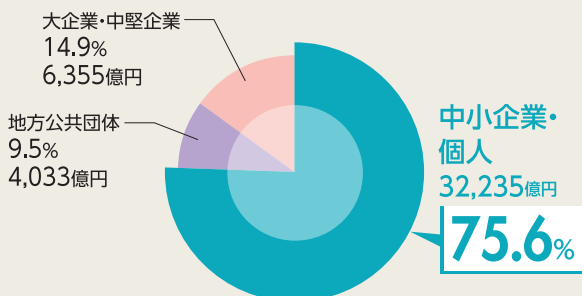
預金等地域別構成



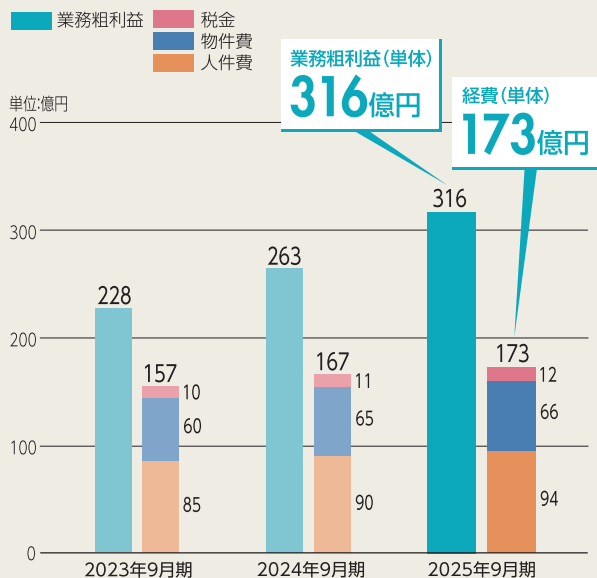
貸出金地域別構成



中小企業・個人のお客さまへの融資の状況



業務粗利益・経費(単体)

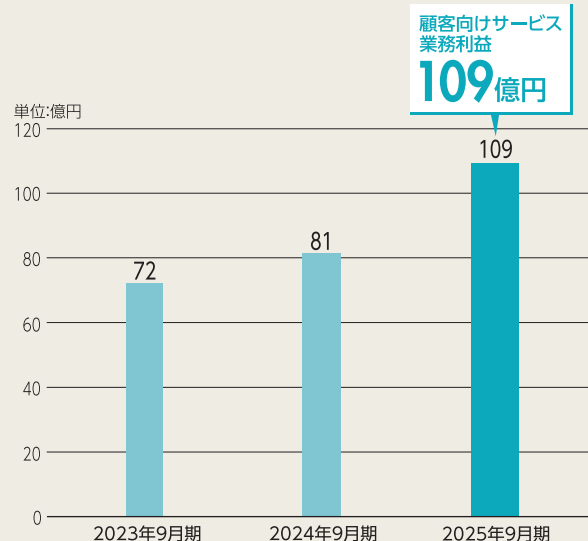


顧客向けサービス業務利益

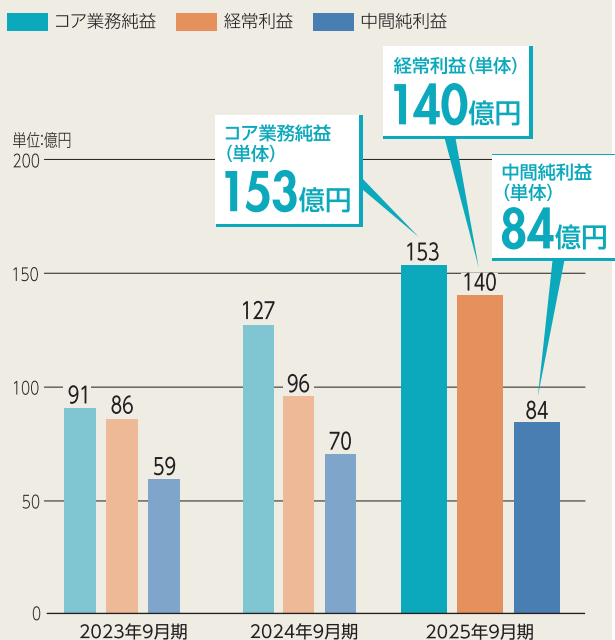
「顧客向けサービス業務利益」については「銀行の本業で稼ぐ力」を示した重要な指標であると認識しており、当行は「顧客向けサービス業務利益」の増強に注力していきます。

※顧客向けサービス業務利益

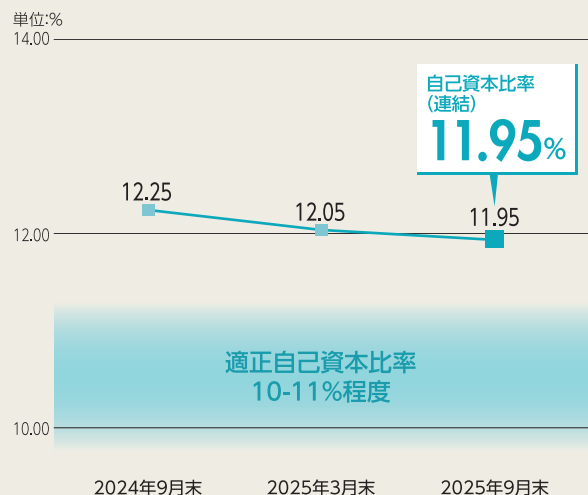
=貸出金平残×預貸金利回差×期中日数÷365+役務取引等利益－営業経費



コア業務純益・経常利益・中間純利益(単体)



自己資本比率(連結)



紀陽銀行(連結)

第216期中 中間連結貸借対照表

(2025年9月30日現在)		単位:百万円	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	887,394	預金	4,732,928
買入金銭債権	0	譲渡性預金	166,418
商品有価証券	17	売現先勘定	4,611
金銭の信託	8,714	債券貸借取引受入担保金	112,130
有価証券	784,761	借入金	702,087
貸出金	4,238,565	外国為替	649
外国為替	3,337	その他負債	61,492
その他資産	51,302	退職給付に係る負債	23
有形固定資産	36,113	睡眠預金払戻損失引当金	65
無形固定資産	3,928	偶発損失引当金	423
退職給付に係る資産	29,734	本店建替損失引当金	1,483
繰延税金資産	7,323	繰延税金負債	236
支払承諾見返	8,152	支払承諾	8,152
貸倒引当金	△21,062	負債の部合計	5,790,703
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	2,509
		利益剰余金	180,763
		自己株式	△5,300
		株主資本合計	258,069
		その他有価証券評価差額金	△15,888
		繰延ヘッジ損益	△52
		退職給付に係る調整累計額	4,400
		その他の包括利益累計額合計	△11,540
		新株予約権	62
		非支配株主持分	988
		純資産の部合計	247,580
資産の部合計	6,038,284	負債及び純資産の部合計	6,038,284

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社

- ・紀陽ビジネスサービス株式会社

・紀陽パートナース株式会社

・阪和信用保証株式会社

・紀陽リース株式会社
- ・紀陽キャピタルマネジメント株式会社

・株式会社紀陽カード

・株式会社紀陽カードディーシー

・紀陽情報システム株式会社

第216期中 中間連結損益計算書

(2025年4月1日から2025年9月30日まで)		単位:百万円	
科 目	金 額	科 目	金 額
経常収益	52,926		
資金運用収益	34,859		
(うち貸出金利息)	(26,284)		
(うち有価証券利息配当金)	(6,474)		
役務取引等収益	9,368		
その他業務収益	5,231		
その他経常収益	3,467		
経常費用	38,256		
資金調達費用	7,010		
(うち預金利息)	(4,204)		
役務取引等費用	2,939		
その他業務費用	5,568		
営業経費	17,971		
その他経常費用	4,767		
経常利益	14,669		
特別利益	4		
固定資産処分益	4		
特別損失	1,860		
固定資産処分損	60		
減損損失	316		
本店建替損失引当金繰入	1,483		
税金等調整前中間純利益	12,813		
法人税、住民税及び事業税	5,388		
法人税等調整額	△1,512		
法人税等合計	3,875		
中間純利益	8,938		
非支配株主に帰属する中間純利益	4		
親会社株主に帰属する中間純利益	8,933		

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

紀陽銀行(単体)

第216期中 中間貸借対照表

(2025年9月30日現在)		単位:百万円	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	886,868	預金	4,744,506
買入金銭債権	0	譲渡性預金	176,418
商品有価証券	17	売現先勘定	4,611
金銭の信託	8,714	債券貸借取引受入担保金	112,130
有価証券	790,003	借入金	702,087
貸出金	4,262,429	外国為替	649
外国為替	3,337	その他負債	50,998
その他資産	16,578	未払法人税等	5,330
その他の資産	16,578	リース債務	1,353
有形固定資産	35,377	資産除去債務	856
無形固定資産	3,631	その他の負債	43,458
前払年金費用	23,338	睡眠預金払戻損失引当金	65
繰延税金資産	8,783	偶発損失引当金	423
支払承諾見返	8,152	本店建替損失引当金	1,483
貸倒引当金	△18,944	再評価に係る繰延税金負債	3
		支払承諾	8,152
		負債の部合計	5,801,529
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	274
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	15
		利益剰余金	167,875
		利益準備金	10,638
		その他利益剰余金	157,237
		繰越利益剰余金	157,237
		自己株式	△5,292
		株主資本合計	242,954
		その他有価証券評価差額金	△16,212
		繰延ヘッジ損益	△52
		土地再評価差額金	7
		評価・換算差額等合計	△16,257
		新株予約権	62
		純資産の部合計	226,759
資産の部合計	6,028,289	負債及び純資産の部合計	6,028,289

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第216期中 中間損益計算書

(2025年4月1日から2025年9月30日まで)		単位:百万円	
科 目	金 額	科 目	金 額
経常収益	47,323		
資金運用収益	34,917		
(うち貸出金利息)	(26,343)		
(うち有価証券利息配当金)	(6,475)		
役務取引等収益	8,226		
その他業務収益	909		
その他経常収益	3,269		
経常費用	33,315		
資金調達費用	7,028		
(うち預金利息)	(4,213)		
役務取引等費用	3,393		
その他業務費用	1,945		
営業経費	16,739		
その他経常費用	4,208		
経常利益	14,008		
特別利益	4		
特別損失	1,860		
(うち本店建替損失引当金繰入)	(1,483)		
税引前中間純利益	12,153		
法人税、住民税及び事業税	5,103		
法人税等調整額	△1,388		
法人税等合計	3,715		
中間純利益	8,438		

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■発行済株式総数 (2025年9月30日現在)

普通株式 67,300,000株

■株主総数 (2025年9月30日現在)

普通株式 15,817名

■株主還元方針

地域金融機関としての公共性に鑑み、長期的に安定した経営基盤の確保や財務体質強化を目的とする適切な内部留保蓄積と、株主還元強化の両立を目指し、株主還元を行うこととし、株主還元は配当性向40%を目安とし、利益の成長とともに累進的な配当を行い、自己株式取得は機動的に実施する方針としています。

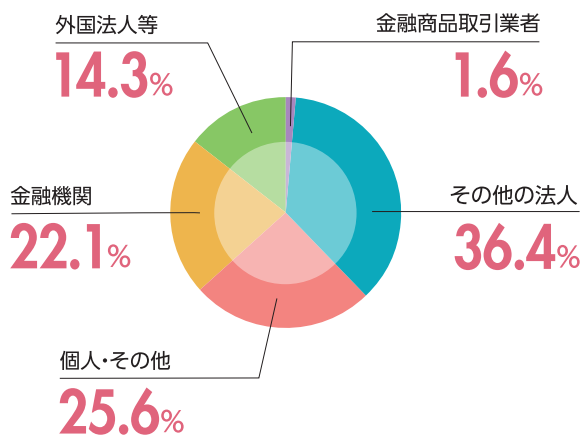
■株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■株式事務取扱場所

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話無料)

■所有者別株式分布 (2025年9月30日現在)



■大株主の状況 (2025年9月30日現在)

株主名	持株数等 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,929	13.93
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,646	4.12
紀陽フィナンシャルグループ従業員持株会	2,154	3.36
明治安田生命保険相互会社	1,007	1.57
株式会社ヤマヨテクスタイル	999	1.55
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	989	1.54
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	946	1.47
JP MORGAN CHASE BANK 385781	827	1.29
株式会社島精機製作所	741	1.15
南海電気鉄道株式会社	711	1.11

(注) 1. 持株数等は、千株未満を切り捨てて表示しています。

2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(3,218,725株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、左記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へ届け出ください。

単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(100株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、左記(株式事務取扱場所(三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部))までお問い合わせください。

(追記) なお、手続きに必要な書類等については、下記のホームページにお入りいただき、検索することができます。

三菱UFJ信託銀行HP
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。